

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2022. 7. 21 NO. 348

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



都市計画マスタープラン「骨子案」修正・スケジュール見直しへ 岸本区長のもとで変わり始めた杉並区

7月15日(金)、杉並区都市計画審議会が開催され、今後10年程度のまちづくりに影響を与える都市計画マスタープラン骨子案が報告されました。

前区長が推進してきた 道路・開発優先の骨子案

示された都市計画マスタープラン骨子案は、田中前区長が進めたまちづくりを踏襲するもので、都市計画道路や駅前再開発等を推進する内容となっています。今回の審議会は、7月11日に岸本区長が就任してわずか5日後の開催であり、骨子案への新たな修正や見直し等が行なわれないまま、報告されることとなりました。

審議会は56名の住民が傍聴。各地域で大きな問題となっている道路計画等を従来通りに推進するのか、大きな注目を集めました。



提案された骨子案は、従来通りの都市計画道路を推進する内容になっており、補助132号、133号、221号、227号等の大きな問題となっている道路についても整備を促進することが計画の柱となっている。

ゼロカーボンの観点を 岸本区長が見直しを明言

こうした事態に対し、報告の議事の冒頭、岸本区長自らが発言し、ゼロカーボンを骨子案の柱に位置付けることを強調しました。この位置付けにより、既存の道路や開発においても、CO2の排出量等の観点から精査することが必要となります。

また、従来の取り組みに留まらず、地球温暖化対策に杉並区が本気で取り組む方向性を打ち出し、審議会委員にも、その観点を踏まえての議論を求めました。

日本共産党 見直しを歓迎

日本共産党区議団も区長発言を歓迎し、①区民意見の尊重②ゼロカーボンシティの推進③都市計画道路の再検討と防災強化④

多心型まちづくりの問題⑤住宅施策の充実⑥ユニバーサルデザインについて、6つの提案を行ないました。

審議会委員からは、従来の計画の進捗を懸念する声も出されましたが、ゼロカーボンシティ推進の必要性を認める発言も多く出されました。

今後、骨子案の修正や説明会などの策定スケジュールの変更が本格的に始まります。

都市計画審議会とは？

自治体が都市計画を定めるため、都市計画法に基づき、その案を調査や審議する区長の諮問機関。学識経験者、議員、行政機関の長や職員などが委員として任命されます。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

初登庁を大勢の住民が大歓迎 住民思いの区政と一緒に 岸本さところ区長 公用車使わず自転車で登庁

自転車で通勤する区長

前号でもお伝えしましたが、7月11日、岸本さところ区長が杉並区役所に初登庁しました。

区役所前で約150名の住民や職員が見守るなか、岸本区長は自転車で颯爽と登庁万雷の拍手で迎えられました。日本共産党杉並区議団も区民のみなさんと一緒に拍手で岸本区長を迎えました。



約150名の住民や区役所職員、多くのマスコミが岸本区長の初登庁を出迎えた



区長任期をスタートさせた岸本さところ区長

岸本区長の自転車で登庁シーンを撮影した動画（金子区議撮影）はツイッター上で135万回再生され、多くの歓迎のコメントが寄せられる等、日本全国から注目を集めています。

前区長のもと、公用車の不適切な使用が重大問題となってきた中で、岸本区長は区長専用車を使用しないことを宣言。早速、自転車での通勤を開始しています。区役所内には、区長の自転車置き場も準備され、就任直後から杉並区政の変化が始まっています。



新区長の区政運営方針 記者会見で示される

登庁後、岸本区長は初の記者会見を行い、マスコミからの様々な質問に答えながら、今後の区政運営などについて語りました。記者会見に駆けつけたマスコミは30社でした。

記者会見は時間制限を極力無くし、全ての取材に対等平等に応じ、フリーランスの方々も広く受け入れている点は重要です。記者からの質問にも区長自らが一問一答で懇切丁寧に回答しました。

コロナ禍・物価高騰から生活を守る対策を申し入れ

7月12日、日本共産党杉並区議団は杉並区に対し、方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の活用を求める申し入れを行ないました。

物価高騰が区民の暮らしを直撃し、杉並区が区民生活を守るためにどう対応するかが問われています。政府は地方創生臨時交付金を創設しましたが、これを区民と区内事業者のために最大限活用することが求められます。

申し入れでは、教育、区民生活、事業者、その他の4項目に分け、きめ細かな対応を、と要望しました。政策経営部長は、交付金の活用は検討していくと話しました。



申し入れ全文は団ホームページに掲載